

## 神 殿 講 話

平成 25 年 4 月 21 日

只今は 4 月の月次祭を共々に勇んでつとめさせて頂きまして誠にご同慶に存じます。お話の当番でございますので、しばらくの間お付き合いくださいますようお願い申し上げます。

柏手

3 日前の 18 日は、とても気持の良い晴天のご守護のもと、ご存命の教祖の 215 回目のお誕生日をお祝いする教祖ご誕生祭が、世界各地から、桜井大教会関係でもフランス、オーストラリアからの帰参者がおられましたね。それに私の友人はペルーからも帰参しておりましたので正に世界各地からの参拝者で賑わう中、盛大につとめられました。更に 19 日には第 95 回婦人会総会が開催されて、おぢばは多くの人たちで賑わいました。婦人会の皆様お勇み様でございました。

4 月 18 日は、教祖の他にももう一人誕生日の人がいましてね。それは今は亡き私の最愛の妻の母なんです。実家のお母さんの誕生日なんですね。今年 85 歳になりました。週に 3 回デーサービスに行ってますが、ま、元気にしてくれています。私にとっては、親はこの母が一人しか残っていませんので大事にせなあかんと思って時々は顔を見に行ってるんですけどね。

私の家内が出直して何年になると思います？月日の経つのは早いものですね。

もう7年になります。なんと教祖120年祭の年に出直しましたので、130年祭が来たら、我が家の典子様は10年祭ということになります。とても分かりやすいでしょ。

さて、その教祖130年祭に向かったの三年千日の活動が始まりました。

昨年秋の大祭で諭達第3号がご発布くだされ、今年は5月まで諭達徹底の為の全教会一斉巡教が行われています。桜井関係は2月3月にお受けしましたが、全教的にはこの5月までで、6月からは全ての教会が年祭活動に突入することになります。また、6月の本部の月次祭から教会長の登殿参列が始まります。年祭年祭年祭と全教が年祭活動一色になって行くと思います。

諭達でお示しくださっているキーワードは「おたすけ」であります。文中、13か所。いかにおたすけをさせて頂くか？また、毎日お互いは、十分にたすけてもらって生かさせて頂いているという自覚をもって、その喜びがあれば、人様にも同じように、特に、身上事情で苦しんでいる方にたすけて頂きたいと思えると思います。

桜井大教会では、この諭達第三号を受けて、この三年千日の活動方針を発表してくれました。既にご承知のように「ようぼくは、共々に人だすけの道を歩もう」というスローガンのもとに、そして具体的な目標として、

○『おつとめ』と『おさづけ』でたすかりを願おう

○周囲に心を配り、積極的に声を掛けよう

○人の悩みに耳を傾け、親身にお世話をしよう

○夫婦、家族の中から、たすけ合いを実行しよう

更に、おたすけをさせて頂く上での直接的な活動として、

1、 おたすけお願いカードを活用する。

2、 おさづけの取り次ぎ 100 万回を目指す

3、 修養科生 300 名を目指す

以上のように、大教会の活動方針を定めてくれました。

とても分りやすい表現だと思います。

それで、あなたはこの三年千日どのように活動するのか？

私は、この三年千日どのように活動するのか？ということですね。

私は、具体的には、この「おたすけお願いカード」と「おさづけの取り次ぎ 100 万回」がその全てだと思っています。

「おたすけお願いカード」ですが、今までの一人 1 枚から 1 枚で 6 人書けるように新カードになりましたね。これは有難いですね。私も毎日 6 人の人の名前を書いて箱に入れてあります。住み込みさんや日参してる方が毎日書いて

箱に入れてくれています。オーストラリアのアキさんは、毎週おたすけさせて頂いている人の名前や年齢をメールで連絡してくれていますので、私が毎日おたすけお願いカードに書いて箱へ入れています。ベティさん、ベルマさん、ドロシーさん、ニーナさん、マーガレットさん、ヘクターさん、ナタリーさん、アランさんなどなど毎日3枚書いて箱に入れています。そして朝夕のおつとめと午後2時のお願いづとめには教会にいるものがしっかりとお願いさせて頂いています。

このおたすけお願いカードは桜井大教会だけではありませんね。全教で広がっていますね。桜井から始まったものなのか？他の教会から始まったものかそれは知りませんが…。あちこちの大教会で同じように「おたすけお願いカード」を活用しているみたいです。

次に、おさづけの取り次ぎを100万回を目指すですが、

おさづけは、その達成目標として、大教会では百万回のおさづけの取次ぎをご提唱してくださいました。百万回は、数だけとらえればとてもすごい数です。しかし、1教会にすれば1万回ですね。3年間で1万回です。1年間は3334回、1日にすれば約10回です。1教会で毎日10回のおさづけの取次ぎがあれば大教会では3年間合わせて百万回になります。計算上はそうなりますね。

1日10回、一人で10回でもいいし、10人が1回ずつでもいいですね。とに

かくようぼくさんには一人でも多くおさづけを取り次いでくださるようになって頂くことが、人様にたすけて頂きたいと思う心になって頂くことが教祖にお喜び頂くことですからね。一人の人が毎日一人、主人にでも奥さんにでも子供さんにでもご両親にでもね、恥ずかしいですからね。まずは家族や身内から一人だけでもおさづけを取り次ぐようになると、病気の友人や知人に会ったときに「おさづけさしてくれへん？」と言えるようになるかもしれませんね。この「おさづけさせてくれへんか？」というのがなかなか勇気のいることです。病院へ見舞に行ってもね。すぐに「おさづけさせてくれへんか？」と言わなかったら、他の話してたら「おさづけさしてくれへん？」とだんだん言いにくくなるんですね。そのうちに今日はもうええかと諦めてしまうんです。タイミングが難しいんですね。そんな経験はありませんか？だからすぐにおさづけさせてもらわないといけませんね。

身上の人、意外と多いですよ。病気の人って意外と多いんですね。病院へ行ったら病人ばかりですが、行かなくてもね。先日も中学時代の友人と話してたら、「俺、胃がんで入院しててん」とか「脳梗塞になってん」とか「軽いアルツハイマーやと言われた」とかね。「そうか、ほんなら善くなるように神様にお願ひさしてもらおうわ。あああ、そのままで、そのままで、すぐに終わるさかいにな。」と、さっとおさづけを取り次ぐんですね。これはオーストラリアのスーザンさん仕込みですね。私よりもオーストラリアのアキさんの方がスーザンさんの伝授を受けて、遠い国で多くの人におさづけを取り次いでく

れていますが。先ほど言いましたように 1 週間に一度、メールでおさづけの取り次ぎ回数も連絡して来てくれますので、教会のおさづけ取次ぎ回数表に記入しています。皆さんには教会へ参拝したときにおさづけ取次ぎの日計を書いてもらうようにしているんですね。全員で毎日 10 回になるようにね。まだちょっとそこまでいかないんですけどね。

私も脳梗塞の病持ちですからね。4 月 14 日は 13 回目の脳梗塞記念日でした。それで、毎日、住み込みさんのご家族の皆さんにおさづけを取り次いでもらっているんです。ご主人には私の頭にしてもらっています。私の脳の毛細血管はMRI 検査で見るとあちこち真っ黒です。血管が詰まって正に欠陥人間になってるんです。それでいつも右半身が痺れています。娘さんには痺れている右手に、息子さんには痺れている右足におさづけしてもらっているんです。耳も右側は殆ど聞こえませんが、左側の耳だけが聞こえているのですが、これも少しずつ聞こえが悪くなってかなり遠くなってきました。これ以上悪くならないように、奥さんには左の耳におさづけを取り次いでもらっています。おさづけしてもらっているとき私は「この世の元初りは、どろ海であつた。月日親神は、この混沌たる様を味気なく思召し、人間を造り、その陽気ぐらしをするのを見て、ともに楽しもうと思いつかれた。…」云々と教典第 3 章の元の理の泥海口記の部分を唱えているんです。おさづけを取り次いでもらうと今日も身体を貸してもらっていると喜ぶことができるんですね。借り物の身体が実感できますね。

毎日、朝づとめの後、おふでさき、諭達拝読、半下りのまなび、そして、おさづけの取次ぎなどで新興の教会の朝づとめは 1 時間かかるんです。こうして、なんとか毎日 10 回のおさづけの取次ぎができるようになりたいと頑張っているんですがね。3 年間で 1 万回に近づくようにね。

具体的に実行するということでは、おたすけお願いカードに、身上者の名前を書いて平癒をお願いすること。おさづけの取次ぎの回数をカウントすることも私はとてもいいことだと思います。「おたすけ」に勇んで取り組んでいると実感がありますからね。これからも続けて行きたいと考えています。

話は変わりますが、去年の今頃は、オーストラリアのケアンズというところにいました。今から考えたらよう行って来たなあと思います。4 月 19 日から 6 月 18 日までの 60 日間でした。いろんな貴重な体験をさせていただきました。オーストラリアに限らず世界各国で布教に頑張っている人たちがたくさんいらっしゃるんですね。「広い世界を打ち回りいっせんにせんでたすけゆく」です。海外布教なんて全く縁がないと思っていましたが、何がどうしてどうしてどうなるかわかりませんね。オーストラリアのアキさんは、今年で 3 年連続のおぢばがえりです。1 年目は別席を運びおさづけの理を頂き、2 年目の去年は修養科へ入るため、そして今回は教人資格講習会を受講するために帰って来ました。今月 12 日に講習も全て修了してまもなく教人登録です。オーストラ

リアは近いところではありません。子どもと二人分の旅費だけでも多額です。生活費を切り詰めて切り詰めて、毎月ドルでお供えも送って来てくれています。そしておぢばへ帰ることだけを楽しみにして、毎日おたすけに勇んでつとめてくれています。誠に頭の下がる思いです。ま、オーストラリアはアキさんに頑張ってもらって、私は気になっているのは九州なんです。せっかく細々と繋がっている九州への道。行かなくなったらプツリ切れてしまいます。私の三年千日の活動の一つは九州にもう少しだけでも太い道を付けたいと毎月行かせてもらっています。旅費で一番安いのが飛行機なんですね。片道 2990 円なんです。関空から福岡までです。夜行バスでも片道最低 4000 円。新幹線なんか片道 14000 円かかります。歳にとってこんなに毎月飛行機に乗る機会が多いなんて、想像もつきませんでしたね。九州の道はそう簡単な道ではありませんね。でも、遠方へ行くとアホにはなり易いですね。拍子木を持って行ってリックサックをしょいながら一人で神名流しをしたり、チラシを配ったり、個別訪問をしたり遅々とした歩みですが根気よく続けて行きたいと思っています。

諭達に、

慎みを知らぬ欲望は、人をして道を誤らせ、争いを生み、遂には、世界の調和を乱し、その行く手を脅かしかねない。我さえ良くばの風潮の強まりは、人と人との繋がりを一層弱め、家族の絆さえ危うい今日の世相である。まさ

に陽氣ぐらしに背を向ける世の動きである。

とあります。

日本は、アベノミクスで好景気になりつつありますが、世界では、北朝鮮の脅威や中国の勝手な国家解釈、そしてあちこちで多発するテロなど我さえ良くばの風潮が蔓延している現在の世界です。TPPで、国益、国益と言っていますが、これも結局は自分の国さえ良かったらいいということになります。

親神様の思いは、「人間に陽氣暮らしをさせて神も共にたのしみたい」と聞かせてもらっています。陽氣に暮らせるように、人間もこの世の全てものを作り貸してくださっているんですね。

諭達に

「陽氣ぐらしは、何よりも親神様の子供である人間が、互いにたすけ合って暮らす世の在り様である。また、

よくにきりないどろみづや こゝろすみきれごらくや（十下り目 四ッ）

心さいすきやかすんた事ならば どんな事てもたのしみばかり（十四 50）

と仰せられるように、陽氣ぐらしは心を澄ます生き方でもある。

とあります。

陽気ぐらしとは、互いにたすけ合って暮らすこと

陽気ぐらしとは、心を澄ます生き方

たすけ合って暮らすことなどほどほど遠いし、心を澄ますよりも心を曇らせる生き方の方がはるかに多いと思います。正に陽気暮らしに背を向ける生き方です。

この教祖百三十年祭の旬に、世界の人たちに互いにたすけ合って暮らすこと。心を澄ます生き方が人間を作ってくれた親の思いだと一人一人に伝えていくことが道の者のつとめだと教えられています。広く海外までもしっかりとこの道を伝え、布教していくことがこの旬の急務であると教えられています。

最後になりますが、私は、今年の6月19日で65歳になります。祖父は53歳で出直しています。父は64歳で出直しました。今、出直したら父と同じです。今年の誕生日を無事に迎えられたら水本の男としては新記録になります。生まれ替り出替りして、5分5分と成人させてくださっていることに感謝したいと思っています。

この時旬に、果たして今、自分にできることは何かと考えて、陽気に、勇んで、楽しんで、この三年千日を通らせて頂きます。

また、今月 29 日は、全教一斉ひのきしんデーです。いつものように西吉野支部では大淀養護学校でひのきしんをさせていただきます。お互い様に、結構に身体をお借りしている喜びの心で共々に、揃って参加させていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

柏手